

平成20年度 日南振徳商業高等学校 学校評価

<b>教育目標</b> 教育法規ならびに県教育基本方針にもとづき、確かな力を基盤とした感動と感性の教育を推進することにより、宮崎の教育創造プランの具現化を図る。そのことから生涯学習の基礎を養い、勤労と責任を重んずる健全な産業人として、郷土ならびに国家社会の発展に貢献しうる有為な人材の育成に努める。 このため、各教科および特別活動等の教育活動を通じ、自己教育力を育成し、健康増進と生命尊重の精神を養うことにより、「知・徳・体」の調和のとれた人間の育成を図り、個性豊かな人間性の育成に努める。				<b>【学校関係者評価のポイント】</b> ・自己評価の項目や指標は適切に設定されているか。 ・自己評価の結果は、指標等をもとにした妥当なものであるか。 ・自己評価の結果を踏まえた成果と改善策は適切であるか。		
<b>経営方針 校訓「健康 誠実 友情 情熱」 振徳商スローガン「挨拶の振徳 風紀の振徳 美化の振徳」</b> ○教育理念の一つとして、今まで明確でなかった生徒像を整理し、学校と教師の像（姿）を新たに位置づけた。目指す生徒像は「自分の天分・個性を振りおこし、勉学にスポーツに精励努力する人間」。「学校は、生徒一人ひとりを鍛える場であり、育てる場である」、「生徒に厳しく、寄り添える教師」 ○『振徳商の教育』の重点化 → 「生きる力」を育むことを基本として、①「頭」を鍛え、伸ばす ②「心」を鍛え、育む ③「体」を鍛え、伸ばす 教育を行う。						
<b>本年度の重点目標</b> ①「頭」を鍛え、伸ばす（学力の向上と進路の実現） ②「心」を鍛え、育む（心の教育の推進と充実） ③「体」を鍛え、伸ばす（体の育成と部活動の活性化） ④『振徳商の教育』を達成するための制度の充実						
重点目標	評価項目	具体的方策 又は 具体的指標	自己 評価	学 校 関 係 者 評 価	成 果 及 び 改 善 策	評 価 ・ 具 体 的 意 見
①「頭」を鍛え、伸ばす（学力の向上と進路の実現）	授 業 研 修	授業研究に励み、工夫改善に努め、確かな学力を身につけさせる。	B	B	6月、教職員半数による研究授業を実施したが、改善すべき点が多くあったため、9月実施に向け改善を行い研修に深まりが見られた。	・更なる工夫改善に努め、個々のスキルアップを図って頂きたい。 ・先生方のスキルアップの為に、今後も積極的に取組みを継続して頂きたい。
	専門教育の充実	専門教育を充実させ、ビジネス教育の推進を図る。	B	B	ビジネス教育の視点で、新設高校を含めた学科の特色や教育課程について検討し作成できた。	・次年度についても期待したい。 ・志願者も多く、専門教育の充実が楽しみである。
	資格取得の推進	資格取得を推進し、達成感・成就感を与えることで学ぶ意欲を喚起し、資格を活用した進路指導の充実を図る。	A	A	資格取得については、例年同様高い合格率で推移している。特に珠算・電卓の1級合格者は増加している。また、現1・2年生も向上心が旺盛なので今後は期待できる。	・何故勉強するのかを生徒達に教育して頂いており、充実した指導だと思います。 ・自社社員を見れば驚きます。 ・資格取得の結果がすばらしい、日々の努力が見られます。
	進 路 指 導	職業観・勤労観を育む教育に取り組み、進路意識の高揚を図ることで、進路目標の早期設定を促し、希望進路の達成を図る。	A	A	企業見学（1年生は2月、2年生は修学旅行）を実施するなど、進路に向けた取り組みが順調に進み、生徒たちの意識も少しずつ変わってきた。今後は色々な職業を紹介すると共に、進路における学力向上を図る手立てに取り組みたい。	・今後も各行政と連携を重視して欲しい。 ・厳しい環境の中で指導して頂いている成果が出ていることはすばらしいと思います。 ・生徒の希望が可能な限り取り入れてもらいたい。 ・地元企業レベルも見られた方が良いと思う。
②「心」を鍛え、育む（心の教育の推進と充実）	学校スローガンの実践	「挨拶・風紀・美化の振徳」のスローガンの実践指導を通して、生徒の基本的な生活態度の確立を図り、自主性・自立性の育成に努める。	B	A	集会等、機会あるごとに振徳商スローガンの意義と指導をおこなっている。 スローガンを実践し、他校生よりルールを守っている意識は高いが「もっと高めよう」と言うところまで至っていないので、今後も向上心を育成する指導を考えたい。	・責任感の強い生徒育成のために指導を継続して行って欲しい。 ・社会に出て、最初に役立つことはこれだと思う。 ・それは大人が手本を示していかないと行けない。 ・問題行動への指導を徹底するべきではないか。
	リーダー育成	学校行事やホームルーム活動等を通してスクールリーダーの育成に努める。	A	A	宿泊研修、体育大会などの学校行事や各集会を通して、生徒がリーダーシップを発揮する機会をつくっている。	・次年度についても期待したい。 ・後輩に引き継いでもらいたいことの一つです。 ・文化・体育の部での活動が評価できる。
	豊かな心の育成	心の教育の充実。読書や体験活動を通して豊かな心の育成に努める。	A	A	ボランティアの日（1・3年）、インターシップ（2年）、振徳ファーム等で体験活動や朝の読書の充実を図っている。	・心優しい生徒が多いのは嬉しいことです。 ・温かい心を育むことが出来ている。 ・図書の利用が活発である。
	人間関係作り	惻隠（思いやり）の心や情緒力を育成し、豊かな人間関係の醸成に努める。	B	B	年4回のアンケートを実施し、その結果を基に、いじめ・不登校等対策委員会を開催している。また教育相談週間を設け、生徒の悩みに対応している。	・いたずらと思っても、いじめになる場合もある。 ・100%生徒が打ち明けることはないと思うので、日頃の察知が必要でしょう。
③「体」を鍛え、伸ばす（体の育成と部活動の活性化）	健康教育の推進	心身の健康教育や安全管理の充実を図る。	B	B	健康診断の効果的な実施と事後指導の徹底を図るように努めている。また、11月に薬物乱用防止のための健康教育講話を実施した。	・心の病については、関係機関による研修等が必要と思う。講話を通しての教育ができています。 ・メンタルヘルスは、今後も重要と考えます。 ・喫煙も薬物乱用防止として力を入れてほしい。
	部活動の活性化	部活動の加入率の向上に努め、部活動を通して自己の鍛錬と個性の伸長を図り、リーダーの育成に取り組むとともに豊かな人間関係を育む。	A	A	部活動の加入率は96%である。成績については、全国大会、九州大会への出場する部もあり、ワープロは九州大会で団体3位に入賞した。キャプテン会議を実施することにより部活動の取組状況や施設利用状況も良い。	・成績にとらわれず、全員参加でチームワークの必要性を指導して頂きたい。 ・保護者の協力・参加をもう少し促してもらえると良いと思います。 ・商業関係では秀でている成績である。
④『振徳商の教育』を達成するための制度の充実	アカウンタビリティ	アカウンタビリティ（説明責任）を果たす組織の構築	B	B	地域、学校評議員、保護者等に対する説明責任が果たせるように、学校評価システムを見直した。	・各学期毎に、目標達成に向けた取組みが伺える。保護者・評議員も含め、校内へ来校してもらう工夫が必要である。 ・第一に保護者への説明責任をお願いしたい。 ・評価システムが改善され、分かりやすくなった。
	協働性	教職員の協働性（同僚性）の確立	B	B	研修のやり方について意見を出しやすいように工夫したり、先進校視察したものを研修会で報告させ共有できるようにした。また、原案を提出する際に関係する機関と事前に折り合わせたものが出せるようになった。	・色々と創意工夫した取組みをされており、引続き職員間の共有化を図り、レベルアップに努めて欲しい。
	学校組織マネジメント	学校組織マネジメントの導入	B	B	学期毎に提出されたマネジメントサイクルをチェックし活用している。	・学期毎の目標を立て、PDCAのサイクルを活用し職員間の向上を図っている。
	再編整備	3年後の閉校及び新設校に対する計画的な準備	A	A	新設校においては準備委員会を中心に計画通りに進んでいる。 閉校までの諸課題について検討する「振徳商プロジェクト」を発足させた。	・閉校3校の備品の保管場所については、検討課題と思うが、確保に向けて検討をお願いしたい。 ・新設校に対して不安を感じている方々（保護者・地域）がおられますので、説明が必要だと思います。

※ A：十分達成 B：概ね達成 C：検討の余地あり D：不十分